

市民活動NEWS

Vol.9

市民団体の活動の様子をお伝えします

2019 May / 市民活動団体支援課 (☎ 643-3274 / 内 3543)

市内で活躍する2団体が「生き生きシニア活動顕彰」に決定！

市内で活動を展開する「下間ふれあいサロン一五の会」、「静岡脳科学研究会」の2団体が、ニッセイ財団の実施する「生き生きシニア活動顕彰」に選ばれました。

この顕彰は、高齢者が主体となって行う、元気で活力に満ちた地域貢献活動に対して顕彰し、地域活動の輪を広げていくもので、今回、静岡県で5団体が顕彰を受けることとなりました。

今回の「市民活動NEWS」では、受賞した2団体の活動を紹介します！

下間ふれあいサロン 一五の会

地区の高齢化が進む中、孤立を防ぎ、生きがいを持とうと発足。

毎月15日に一五の会、25日にお茶のみ会を開催しています。

季節に合った手作り企画や手作り昼食など、参加者が楽しめる工夫を凝らし、定期的集まれる居場所を作る他、月1回発行のいちごだよりで活動をPRしています。

その他にも、地域の世代間交流促進の為、ふれあい寺子屋や夏休みラジオ体操を実施。様々な取り組みで、地域内で顔の見える関係づくりが進んでいます。



夏休みのふれあい寺子屋の様子



ボランティアスタッフも高齢者が中心ですが、笑顔を大切にし、全員が生き生きと楽しんで活動されているのがとても印象的です！得意な人が得意な分野で力を活かし、生きがいややりがいを感じられるような組織作りが素晴らしいです♪



市民会館での講演会の様子

静岡脳科学研究会

定年退職者たちが中心となり、老後の生活をより豊かにするために「脳科学」の基礎を学び、その情報を広く市民に共有し、日常生活をより豊かにしていこうと設立。

毎月1回のペースで、市の公共施設等を活用し、一般市民を対象とした公開講演会等を開催し、開催総数は60回以上になります。

市民団体でありながら、医学博士、薬学博士、工学博士を顧問とし、常に最先端の科学研究報告をベースに活動し、専門的な知識をわかりやすい言葉で一般市民に伝えるよう努めています。

継続した活動により、広く市民に有益な情報を届けています。

理解者を増やし、会の会員が年々増え続けているところがすごい！と思います。

近年は、幼少期からの英語教育の推進に力を入れており、会長自ら地元幼稚園で15年に渡り英語指導にあたるなど、藤枝市を英語教育日本一にするために奮闘されています♪

